

市民公開セミナー 開催要綱

「東日本大震災後の『今』～これからの生き方と支援～」

東日本震災後の福島県では、地震・津波の被害だけではなく日々状況が変化する原発被害によって、震災後3年を迎えようとしている今も、復興・再生は厳しいものがあります。

このセミナーでは、単に「フクシマの問題」としてだけではなくこれからの日本社会の課題として、被災者・避難者と支援者という枠組みではなく一人の市民・人間として、復興・再生への道を考えてみたいと思います。

1. 日時：2013年12月14日（土）10：00～16：00（受付9：15～）

2. 会場：郡山ビューホテル 4階「パラシオ」（郡山市中町3-1）

3. 内容
開 会

9：45

第1部

10：00～12：00

講演Ⅰ.「わたしたちは、何ができるだろう」

講師 潮谷 義子（日本社会事業大学 理事長、前熊本県知事）

Ⅱ.「知るという支援」

講師 瀬川 賢一氏（ジャーナリスト 郡山市在住）

第2部

13：00～16：00

講演 「地域主権時代における自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク」

講師 大橋 謙策（日本社会事業大学同窓会会長）

シンポジウム「支援の現状と課題 ～社会福祉援助専門職として、人として～」

シンポジスト

西尾 卓樹 氏（特別養護老人ホーム秀峰苑施設長、岩手県災害派遣チーム検討ワーキング会議メンバー）

北川 進 氏（石巻市社会福祉協議会災害復帰支援対策課 ささえあい総括センター所長）

大川原順子 氏（福島県医療ソーシャルワーカー協会）

コメンテーター 大橋 謙策（日本社会事業大学同窓会会長）

座 長 鹿島 丈夫（鹿島・熊谷まゆみ社会福祉士事務所）

閉 会 16：00

4. 対象者 福祉関係者、保健・医療関係者、関心のある一般市民の方

5. 定員・申し込み 100名 参加費無料

※申し込みは不要ですが、団体での参加は別記セミナー実行委員会へ連絡をお願いします。

6. 公開セミナー 会場



交通

東北新幹線・東北本線・磐越線
郡山駅 約 600m 徒歩 7分

車

東北自動車道
郡山 IC
R49 経由約 9km およそ 20分
郡山南 IC
郡山長沼線・内環状線経由約
10km およそ 25分

※会場は、「うすい」の斜め迎えて、「郡山ビューホテルアネックス」ではありません。

7. 問い合わせ

市民セミナー実行委員会 担当：小松 智世美

住所：

電話：024-951-2594

fax：024-966-2523

主催 日本社会事業大学
日本社会事業大学同窓会
日本社会事業大学同窓会福島県支部
共催 日本社会事業大学東北地区各県支部
福島県医療ソーシャルワーカー協議会 福島県社会福祉士会
福島県精神保健福祉士会 福島県介護支援専門員協会
後援(予定) 福島県 郡山市 福島県社会福祉協議会 郡山市社会福祉協議会